

岩木川ダム 統管だより

057号
2022年
1月12日



2 0 2 2



謹んで新春の
お慶びを申し上げます
皆様のご健康とご多幸をお祈りします



新年を迎えて

岩木川ダム統管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

事務所長 榎田 雅士



謹んで新年のお慶びを申し上げます。
皆様、穏やかな年始を迎えられたことと存じます。

昨年を振り返りますと、一昨年同様新型コロナウイルス感染症の拡大のため国民生活が大きく影響を受けた1年となりました。当事務所が管理する浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、毎年7月下旬に開催されていた「森と湖に親しむ旬間」が2年連続中止に追い込まれましたが、全国的には昨年8月下旬をピークとして感染者数が激減しました。一方青森県はなかなか感染者数が減らず県独自の緊急対策パッケージが発出され、9月の一ヶ月間は、当事務所の浅瀬石川ダム並びに津軽ダムの現場見学会の中止や、ダム資料館等の休館、ダムカードの配布休止となっていました。

しかし、当事務所では津軽ダムの堤体をスクリーンに見立てて、映像等を投影する新たな取り組みに着手しております。

春のライトアップでは、桜の花びらを回転、端午の節句に併せこいのぼりを泳がせ、

夏のライトアップでは、花火を投影

秋のライトアップでは、芸術の秋ということで津軽ダム建設により移転した地区の絵画（川原平地区・砂子瀬地区）18枚を投影

冬のライトアップでは、サンタバージョンの動画を投影しました。

ダム堤体への投影について、年間を通じてのこのような取り組みは、東北いや日本では「初」ではないでしょうか？

また昨年は令和元年に続き、渇水状況となっていました。

目屋ダムであれば、7月上旬には利水者に対し水を補給できなくなる事態になっていましたが、津軽ダムで補給を続けた結果、取水障害は発生しませんでした。

津軽ダムでは、関係機関と連携調整し日々こまめな管理を行い、限られた貯水を有効に活用し、渇水を乗り切ることができました。

さて、近年頻発している異常豪雨や局地的な大雨等に伴う水害の教訓を踏まえ適切な避難行動や人的被害を軽減するためには、水害に対する防災意識の向上や平常時からの備えが必要なことから、昨年初めて浅瀬石川ダム・津軽ダムの下流地区において住民参加の避難訓練とサイレンによる吹鳴試験を実施しました。

当事務所においては関係自治体を始めとする防災機関と連携しながら、今後とも地域の防災力向上に向けた取り組みを着実に推進して参ります。

このところの石油価格の急騰やwithコロナのもとでの勤務形態の多様化など、我々を取り巻く環境はますます変化しております。まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたことを感謝する気持ちだけは、毎年大切にしたいと思っております。最後になりますが、今年も適切なダム管理を通じて皆様方から寄せられる期待に職員一同しっかりと応えていく所存でございますので、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。今年一年が穏やかでご多幸の年でありますよう心からご祈念申し上げます。



浅瀬石川ダム・津軽ダム クリスマスライトアップ

Christmas Light up



浅瀬石川ダム・津軽ダムでは令和3年12月22日(水)から26日(日)まで、『岩木川ダム統管理事務所』開設以来初の“クリスマスライトアップ”を実施しました。

浅瀬石川ダムは、令和2年12月から約1年ぶりのライトアップ！毎回好評のレインボーカラーでダムを照らし、ダム壁面にサンタに扮した浅瀬石川ダムイメージキャラクターあっちゃんの動画を投影しました。

また津軽ダムでは、クリスマスカラーを基調に約5分毎にカラーチェンジをする演出でライトアップし、加えて浅瀬石川ダム同様、ダム壁面にイメージキャラクターのペッカー君のサンタ動画を投影しました。



- ①【浅瀬石川ダム】あっちゃんとあっちゃんパパがライトアップを鑑賞中
- ②【浅瀬石川ダム】思い出の広場にて撮影。久々のレインボーカラーにうっとりしました！
- ③【浅瀬石川ダム】温泉街からもダムが見えます
- ④【津軽ダム】雪ダムにレインボーが映えます
- ⑤【津軽ダム】ペッカーサンタがやってきた！鈴の音が聞こえそうなイエロー
- ⑥【津軽ダム】ダムパークもホワイトクリスマス☆

空間展示【時の森】

@白神山地ビジターセンター

令和3年12月12日(日)から12月26日(日)まで、白神山地ビジターセンター1階で「空間展示“時の森”」(オダギリくん作)が開催されました。

津軽ダムのダム湖“津軽白神湖”の埋没林から着想を得て、役目を終えた森に光を灯した作品で、幻想的な雰囲気を訪れた人々を楽しませていました。



▲流木の中に浮かび上がる埋没林の写真



▲幻想的な空間展示は12月26日まで行われました

ニシメヤ・ダムレイクツアー &ダム見学付きSpecial運行



白神山地マスコットキャラクター
ブナッキー

津軽ダムのダム湖を活用した水陸両用バス『津軽白神号』（企画実施：（一財）ブナの里白神公社 津軽白神ツアー）は、令和3年10月31日（日）をもって、運行開始から5年目となる年内の営業を終了しました。

令和3年は6,025名が乗車され、平成29年に運行を開始して以来5年間で、延べ52,152名の方が乗車されました。

また上記のうち、水陸両用バス乗車に「津軽ダム内部見学」が付いたSpecial運行は、令和3年で3年目となり、5月から毎月2日（1日に午前と午後の2回）延べ24回を予定していました。

しかしながら少雨によるダム湖水位低下による休止や、青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策（9月）のための休止があり、結果延べ18回実施で、参加人数延べ199名という結果になりました。前年同様感染予防対策のため、従前の見学会ルートとは異なるルートのご案内し、前年に引き続き青森県内からの参加者が約9割を占めました。



▲水陸両用バス『津軽白神号』



▲ダムレイクツアーSpecial 募集チラシ



▲ダムの内部を通過して下流に。大きさを実感



▲笑顔で帰られる参加者たち

=冬のライトアップ情報=

浅瀬石川ダム・津軽ダムでは『冬のライトアップ2022』を開催予定です！実施期間・時間は決まり次第、ホームページ、公式Twitterでお知らせします。右下のQRコードからチェック！！

公式Twitterをフォローしてね☆

※災害等が発生、または発生する恐れがある場合や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によってはライトアップを中止する場合がございます。
ご来訪前に、岩木川ダム統管管理事務所ホームページをご覧ください、電話にて当事務所にお問い合わせください。



浅瀬石川ダム
イメージキャラクター
あっちゃんといび



津軽ダム
イメージキャラクター
ベッカー君



津軽ダム
2021冬

編集後記

新春を^{ことほ}喜び謹んでお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今回は食の話少々。最近はZoomを使って気の合う仲間とオンラインで食事会をする機会が増えましたが、会話をしながら美味しいものを食べている時、人は概ね幸せですね。私の場合、特にバナナがあればだいたい幸せ♡です。

人間1日3食しっかり食べたとしても1年間の食事回数は、1,100回弱。残りの生存年数をかけると、これから一生分の食事回数となりますが、意外に少ない！？と思うのは私だけでしょうか。忙しさを理由に間に合わせの食事をしているのがもったいなくります。

幸せをもたらす“食”を大事に、2022年を過ごしたいと思えます。（森下）

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



〈ホームページ〉 〈Twitter〉

岩木川ダム統管管理事務所
ホームページアドレス
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito